

黎明 REIMEI

～一般社団法人 日本PVプランナー協会会報誌～ Vol.21 2021新春号



表紙写真提供
(株)白崎コーポレーション
(株)スマイルあわじ
松下電建(株)

Contents

・特集／第8回全国会員大会

- ・理事長挨拶・表彰式
- ・ご来賓挨拶・第9期運営方針
- ・基調講演

- ・会員企業訪問／(株)タデック
(株)エイワット
(株)イーテック

- ・自治体・業界団体への講師派遣実績

新年のご挨拶

一般社団法人日本PVプランナー協会 理事長 石丸貴樹

謹んで新春の祝詞を申し上げます。

現在も新型コロナウイルスの影響で制限ある活動が続いておりますが、脱炭素の動きは活発化しております。絶対に止めることのできない再生可能エネルギーの加速的導入はマストであり、非常に長いスパンでの事業でもあります。

日本の再生可能エネルギーの導入は世界に比べ少い様子が異なります。それは、日本は世界でも類を見ない災害国家であるということです。台風、大雨、地震、津波といった自然災害が非常に多く、これに対するレジリエンスも求められております。これらに対するプロダクトが太陽光発電、蓄電池、EMSとなります。



このような背景の中、我が協会はこれからのビジネスシーンを的確に捉え、会員の皆様にしっかりと伝えていく義務があります。そのため情報交換会、セミナーを定期的に行い、求められる事にしっかりと応えていきたいと思っております。メーカーやディーラーの収益ではなく、いかにエンドユーザーに喜んでいただけるかという事が事業の発展を進めていくのであると感じております。さらに、要求されるものをただ提案するのではなく、ためになるものを提案していくという意識を持って活動していく考えでもあります。まだまだ、厳しい環境下での活動とはなりますが、気を引き締めて前進し続けてまいります。

これから会員の皆様のご発展に寄与できますよう業務に精励いたす所存でございます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

一般社団法人 日本PVプランナー協会 理念

私たちは、PV プランナー・PV システムインテグレーターの育成をおこない、太陽光発電の健全な市場発展に努めます。

その為には

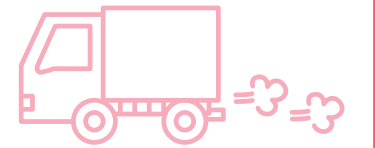
- 1、私たちは「地球環境問題」の解決に取り組みます。
- 1、「販売」は、コンプライアンスを遵守します。
- 1、「商材説明」は、お客様に正しい知識と情報を提供します。
- 1、「施工」は、安全を第一に考え、お客様の家屋を守りながら、適正な発電が行えるよう努力します。
- 1、「アフターサービス」は、お客様のニーズに応え、素早い対応を心がけます。

以上を行い、私たち・お客様・地球が共に繁栄する「豊かな未来創り」に貢献します。

事務局が東京へ移転しました！

2021年1月12日(火)に事務局が下記住所へ移転しました。お近くへお越しの際は、ぜひお立ち寄りください。移転にともない、電話番号、FAX番号、メールアドレス、ホームページURLについても変更となりました。

新住所：〒102-0084 東京都千代田区二番町3番地10 白揚ビル2階
新電話番号：03-6256-9970
新FAX番号：03-6256-9971
新メールアドレス：support@pv-planner.or.jp
新ホームページURL：https://pv-planner.or.jp



事務局だより

2021年！新しい生活様式と脱炭素化の新しいスタートです。昨年は新型コロナ対応により、密になる地区会を新しいスタイルに変える挑戦の年でした。WEBを使った太陽光発電セミナーの開催、近場の少人数リアル＋WEBによる全国会員大会や地区会の開催。協会員の皆様にはこれを機にWEB活用を進めていただきたく、多くの協会員の導入のお手伝いをさせていただきました。「変化」を拒むのではなく、積極的に挑むことで「進化」になると思います。

そしてついに政府も脱炭素化に大きく舵を切り、今年度はさまざまな補助金(案)が聞こえてきており、再生可能エネルギーが主力電源として主役に踊

りだし、子どもたちの未来を構築していくものと思います。

そうです、ようやく始まったのです！私も脚麻痺にめげずバイクに挑み…破れ…トライク(三輪バイク)に再挑戦し、25年ぶりにツーリングができました。

今年もゴルフやキャッチボールに挑戦して行きたいと思います。

本年もよろしくお願いいたします。(事務局 大槻)



お問い合わせは…



一般社団法人 日本PVプランナー協会

〒102-0084
東京都千代田区二番町3番地10
白揚ビル2階
TEL: 03-6256-9970 / FAX: 03-6256-9971
Web https://pv-planner.or.jp
Mail support@pv-planner.or.jp

制作・編集：(株)電設出版

ソラ Tube

始めました

太陽光メンテナンス
情報を発信中！



ITES.Solamente

検索



太陽光パネルの点検はソラメンテシリーズで



ストリング
チェッカー SZ-200

天候の影響をほとんど受けないインピーダンス測定で、パネル故障をストリング単位で特定します。



パネル
チェッカー SI-200

高感度センサーで、パネル表面から発電電流を感知。すばやく正確に故障パネルを特定できます。



オプション SR-200

送電前・送電停止時にパネル点検ができます。SZ-200、SI-200 と連携させて使います。



オプション SC-200

CIS 薄膜パネル点検で、PVケーブルを取り外さずに点検できます。SI-200に装着して使います。

太陽光パネル メンテナンスブック

無料
進呈

アイテスが全国の太陽光発電所で遭遇した、トラブル事例を現場編として本にまとめました。太陽光パネルの疑問を解決する技術編、太陽光発電所の売電損失についてまとめたオーナーブック、まとめて3冊を無料で進呈いたします。お申込みは、下記 HP から！



www.solamente.biz

太陽光 ソラメンテ 検索

販売代理店
東洋計測器株式会社
〒101-0021 東京都千代田区外神田 1-3-12 計測器ランドビル
TEL.03-3255-8035 FAX.03-3255-8076
URL:<http://www.keisokuki-land.co.jp/>

株式会社**アイテス**
〒520-3031 滋賀県栗東市縷 1 丁目 17-8-501 栗東事業所
製品開発 TEL.077-599-5040 FAX.077-554-6173
URL: www.ites.co.jp e-mail: sales02@ites.co.jp

WEB開催 (登壇者リアル参加)

第8回全国会員大会

2020年11月20日、「第8回全国会員大会」がWEBにて開催されました。WEBでの開催は初の試みとなりましたが、今年度の協会方針である4つの施策に係る基調講演も大変好評で、多くの方に参加いただき大盛況となりました。



理事長挨拶

エネルギーの地産地消と地域の活性化の時流が始まる

一般社団法人日本 PV プランナー協会
理事長 石丸 貴樹



現内閣の所信表明の中で、2050年までに温室効果ガスの排出を0にすると発表がありました。省エネルギーを徹底し、再生可能エネルギーを最大限導入すると明言しました。これをふまえ、再生可能エネルギーができる最大限の可能性を深めていかなければなりません。

これからは売電事業中心の大規模太陽光発電ではなく、地域密着型自家消費モデル、つまり住宅や事業所から排出される二酸化炭素を再生可能エネルギーでまかない、災害時の電力確保を行い、地域住民の安全を担保します。当協会が進めてきたエネルギーの地産地消と地域の活性化の時流が始まります。

表彰式



2020年度 安全スローガン

「みんなで作ろう「安全文化」
リスクを減らして 災害0 (ゼロ) へ」

安全スローガン賞

松下電建(株)
(中部エリア会員)
平野氏 (代理：松下氏)



最優秀会員賞

(株)松原電機
(中部エリア会員)
松原氏

最優秀会員賞は各地区会表彰者の中から特に地区会活動への貢献が著しかった協会員を表彰

ご来賓挨拶

太陽光発電のこれから

経済産業省 資源エネルギー庁
新エネルギー課 課長
清水 淳太郎氏

総理大臣からカーボンニュートラルの宣言がなされました。非化石燃料化が加速され、電力がキーワードとなります。今よりも電力需要が増えるので、再生可能エネルギーを増やしていくことが政府の方針です。太陽光は着実に増えています。課題としては、外国に比べ日射量が少ない、平地面積が少ない、工事費がなかなか下がらない、地域でのトラブルがある、農地利用との調和、などが挙げられるかと思えます。

三つの方向性をご紹介します。まず一つ目は、屋根置きの場合、パネル価格は下がってきているものの、まだまだ初期投資が高く、回収に時間がかかってしまいます。初期投資をゼロにするなど、ビジネス上の工夫が必要かと思われます。二つ目は、地域でのトラブルに上手に対応しないと太陽光発電に対する信用が得られないので、地域との共生が重要で



あるということです。三つ目は、分散型の再生可能エネルギーをどう促進していくのか、という課題です。

RE100も含めて、需要家の大きな流れがグローバルにきているので、こうした流れを活用しながら新しいビジネスモデルを作ることが重要です。

脱炭素社会に向けた潮流と 脱炭素で持続可能な地域づくり

環境省
地球環境局地球温暖化対策課 課長
小笠原 靖氏

わが国は、2050年までに温室効果ガスをゼロにする、すなわち2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指すことを宣言しました。この挑戦は日本の新たな成長戦略であり、産業構造の改革や経済社会の発展につなげ、経済と環境の好循環を生み出していくと思われます。

環境省としては、地域という観点から、地域循環共生圏という概念を提唱していて、地域が課題に応じて地域における資源を生かし、課題解決により、魅力あふれる地域社会を作っていくというコンセプトです。環境省では企業や地域など需要サイドの脱炭素化、RE100の支援など後押しします。

脱炭素化の取組がもたらすメリットとして、企業と地域は「大規模停電への対応力向上」「BCP能力



の向上」、地域では「地域内の資金循環」「関連産業の誘致・雇用創出」、企業では「投資家・取引先への脱炭素経営の訴求」などが挙げられ、再エネ、省エネ、蓄エネが好循環をもたらすと考えられます。

農山漁村における再生可能エネルギーと 営農型太陽光発電

農林水産省
食料産業局バイオマス循環資源課
再生可能エネルギー室 室長
川中 正光氏

今、再生可能エネルギーを農林漁業に活用した取組が各地で行われていて、これは農山漁村の活性化に寄与するものです。一方、再生可能エネルギーの地産地消や地域の経済循環を生み出すための取組を長年行っています。電気料金などの削減、収入の確保、人口の拡大、雇用の創出などが期待されます。

農山漁村再生可能エネルギー法の計画制度は、再生可能エネルギー導入による地域の活性化、農林漁業の健全な発展に資する取組、土地活用の調整などを行います。

営農型太陽光発電（ソーラーシェアリング）とは、農地に支柱を立てて上部空間に太陽光発電設備を設置し、太陽光発電と農業生産を共有する取組です。



設置には農地法に基づく「一時転用」の許可が必要です。また、「営農の適切な継続が確実か」「周辺の営農上支障がないか」等もチェックポイントです。営農型太陽光発電設備は着実に伸びており、促進に努めてまいりたいと思っています。

（一社）日本PVプランナー協会 第9期運営方針

1. 太陽光発電自家消費の普及促進

自社保有設置、PPA 設置、自己託送活用、自営線活用

2. O&M（オペレーション & メンテナンス）の普及促進

フェンス（柵）設置、遠隔監視装置、O&M、付帯保険、リパワリング、セカンダリー

3. 蓄電池の普及促進

住宅用蓄電池、事業用蓄電池、住宅用 EV、法人用 EV

4. 農業振興と脱炭素化を目指すソーラーシェアリングの普及促進

FIT、NON-FIT、自家消費活用、自己託送、自営線の活用

以上の4つの運営方針に沿ったWEB セミナーや研修会を2021年4月より展開してまいります。合わせて各地の地区会は新型コロナウイルスの感染状況に合わせてリアルまたはWEBで開催し、協会員の皆様の事業化を少しでもご支援できるよう進めてまいります。

基調講演Ⅰ

今後普及拡大するO&Mの未来について

(株)横浜環境デザイン(当協会理事)
代表取締役社長 池田 真樹氏

温室効果ガスを2050年までに実質ゼロにするという国の政策が発表されました。再生可能エネルギーは間違いなく主力電源化に向けて進んでいます。ここで大事なことは、長期信頼性＝O&M(オペレーション&メンテナンス)であると考えます。

O&Mは専門業務であり、単純作業ではありません。O&Mの目的は、売電の最大化と損失リスクの最小化による長期安定発電の確保です。

当協会として、オペレーションに関しては遠隔装置を必ず付ける方向にしたい、また現在、駆けつけは外部に頼っていますが、外部への共同依頼、会員駆けつけ互助制度を確立したいと思います。メンテナンスについてはレンタル制度を確立したい、技術開発に関しては屋根に登らなくても点検できる技術を目指します。



協会でないといけないことがありますので、今がその使命を果たす時と考えています。

基調講演Ⅲ

来年度活性化する自社保有・PPA設置・自己託送・Non FIT

エナジー・ソリューションズ(株)(当協会副理事長)
代表取締役社長 森上 寿生氏

経済産業省、環境省の政策のキーワードとなっているのが「脱炭素」と「レジリエンス」です。レジリエンスとは災害に対する社会システムの適応能力(＝回復力)で、これを再生可能エネルギーで作っていくことになります。

経済産業省では、太陽光発電の主力電源化に向けた方向性を三つ挙げています。「新しいビジネスモデルの構築」「地域における太陽光発電の活用と共生」「2050年にむけたさらなる取組」です。

「新しいビジネスモデルの構築」の中で「自家消費、PPAなど多様なビジネスモデルの登場・加速化」「FIP導入を契機としたアグリゲーションビジネスの活性化」が挙げられていますが、このあたりは当協会が担うべき部分であると思っています。自家消費太陽光発電導入のポイントは、電気料金の削減、



停電時に必要な電力の確保(レジリエンス対策)、補助金や融資の活用、環境価値を高める、などが考えられます。

基調講演Ⅱ

蓄電池の展望 住宅用・事業用・EV

(株)エネマン(当協会会員)
代表取締役 三尾 泰一郎氏

アンケートによると、アフターFITでは60%の方が蓄電池の保有を検討しています。ただし、FITベースの利益計算の営業は難しいと考えます。現在の蓄電池は工事費込みで150万円～250万円なので、気軽に設置できる価格ではありません。中古EVカーを蓄電池の代わりにする、などが考えられますが、車の維持費等を考慮しなければなりません。

FITの手法に頼らない新しい営業方式として「LED'S」(ローカルエナジーダイレクトサプライ)があり、地域のエネルギー地消地産を目指します。電力供給や利用、施設の施工、運営、管理、メンテナンスなど、すべてを地域内で行います。災害などの緊急時には携帯電話の充電などのために開放します。

蓄電池市場はさらに成長しますが、FIT時代のようにはいきません。再生可能エネルギー本来の目的である地消地産を目指し、地球環境保全の一翼を担



うと同時に停電や災害時のエネルギー確保に役立つことをお客様に語ってください。

基調講演Ⅳ

ソーラーシェアリングの展望 自己託送やNon FITの活用

千葉エコ・エネルギー(株)(当協会専務理事)
代表取締役 馬上 丈司氏

再生可能エネルギーを普及させる目的は何でしょう。分散型エネルギーで自然資源のある地域が豊かになる、資源輸入量の削減で国富流出が抑制できる、エネルギー自給率の向上は安全保障に資するなど、つまり生活が豊かになると考えます。

ソーラーシェアリングは、国内農地440万haの活用を図り、エネルギーと食料の生産基盤を維持・拡大します。都市外周部に存在する農地を再生可能エネルギーの生産拠点にすることができます。日本では、工業団地のそばに農地が広がっている場所がたくさんあり、農地から工業団地に電力を供給できれば理想です。

また、さらなる普及のために、FITを背景にした全国での規範となる事例を広げていくこと、上位系統の制約を受けない都市近郊農地の活用、託送料金



制度の見直し、再生可能エネルギーの中での格付けを行う、などが必要となってくると考えられます。

営農型太陽光発電に積極的に取り組む

(株)タデック (中部エリア会員)

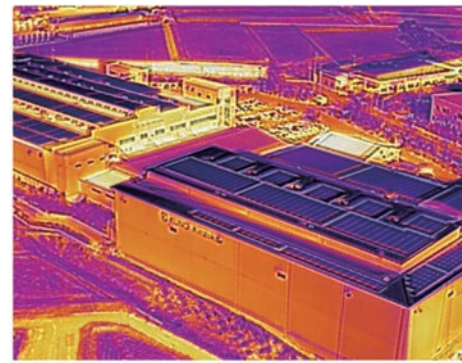
1996年に太陽光発電設置のために会社を設立し、20年以上パネルの設置と電気工事で会社を継続して来ました。

当初は、住宅用からスタートし、業務用、営農型太陽光発電に積極的に取り組んで来ました。ODA（政府開発援助）物件で、アフリカ ジブチ、南米 ペリズの他にツバル共和国での太陽光パネル設置にも参加致しました。現在では、営農型太陽光発電の下で野菜工場でのレタス等の葉物野菜、ブルーベリー、柿、千両等の栽培も実施しています。

近年、太陽光発電所のメンテナンスにも力を入れています。ドローン飛行の認定を取得し、赤外線カメラ付ドローンにてパネルのヒートスポット等の不具合を検出して改修を提案しています。野立てサイトの草刈りも色々な草刈り機を購入しチャレンジしています。世の中はRE100、SDGs、炭素ニュートラル等、環境に対する意識が大きく変化しています。温暖化により台風も強大化し、大雨、天候不順で農業にも大きく影響を及ぼしています。当社も微力ながら引続き環境貢献活動に努め、持続可能な開発の一端を担って行きたいと思ひます。



ドローンによる通常撮影



ドローンによる赤外線撮影

・会社概要・
社名：(株)タデック
住所：愛知県常滑市市場町1-6
代表者：竹内政隆
創業：1996年
主な事業：太陽光発電システム 設計、施工、メンテナンス
電気工事（住宅・工場・建築・高圧受電装置）、電話工事、空調工事、自火報工事、コンピューターLAN配線、野菜工場 ブルーベリー栽培、柿、千両栽培、原木椎茸栽培、ドローン撮影

100年後、200年後も健やかに人々が暮らせる社会を構築する

(株)エイワット (近畿・北陸エリア会員)

弊社は設立当初、金属機械加工工業でありましたが、現代表取締役である柴田が1997年にデンマーク、ドイツ、モナコで環境政策・再生可能エネルギー技術を学び、1999年より本格的に新エネルギー事業の健全な普及に取り組んでまいりました。

企業理念である、「売り手よし、買い手よし、世間よし、未来よし」の四方よしを実践し、次の世代の子供たちに豊かな自然を継承するために、日々学ばせていただきながら活動を行っております。

創業の原点である「ものづくり」の精神を継承し、スマートコミュニティという「ハードウェア・ソフトウェア・ハートウェア」を日本の地域において実装し、全国そして世界へ展開することを弊社の使命だと考えております。



事業内容は、金属機械加工、太陽光発電、風力発電、マイクロ水力発電、スマートコミュニティ、サイバーセキュ



リティなど数多くあります。これらのサービスは人々の暮らしをサポートし、本質は「人の和」にあります。持続可能なエネルギーを推進し、100年後、200年後も健やかに人々が暮らせる社会を構築することで、足元から未来を創造致します。

日本PVプランナー協会を通じて、知識の向上と同時に協会会員の方々と今後仕事を通じて協業できることを楽しみにしております。

・会社概要・
社名：(株)エイワット
住所：大阪府堺市美原区多治井20-1
代表者：柴田政明
創業：1972年
主な事業：金属機械加工、太陽光発電システムの施工・販売・各種申請・O&Mサービス、風力発電システムの申請業務・施工・メンテナンス、マイクロ水力発電、スマートコミュニティ、サイバーセキュリティ

再生可能エネルギーのさらなる普及、発展に寄与する

(株)イーテック (関東エリア会員)

弊社は埼玉の地に太陽光発電システムの販売会社として、2002年に開業し、間もなく20周年を迎えます。

太陽光発電を取り巻く環境は政策の影響を受けやすく、激動の20年でしたが、今後は新政権のもと再生可能エネルギーの見直しが実施され、ますますの発展を遂げるものと確信しております。

【弊社の強み】

弊社代表はIT技術系のエンジニア出身で、昨今家庭内やオフィス内で煩雑化しているネットワーク知識にも精通し、過去20年近くの施工実績、施工経験を



を活かし、安心安全を第一に高品質な施工を提供しております。

2021年もお客様、関係各位のご指導いただき再生可能エネルギーのさらなる普及、発展に寄与してまいる所存です。



・会社概要・
社名：(株)イーテック
住所：埼玉県上尾市寺町目南16-1
代表者：日高伸雄
創業：2002年
主な事業：太陽光発電システム設計・施工、各種リフォーム/リノベーション事業、蓄電池/外装・屋根塗装工事一式、EV充電ターミナル設置工事一式、新車リース取扱店

会員企業様の記事掲載募集中です

今年も毎号、会員企業様に記事掲載をお願いして参りますので宜しくお願いいたします。

- ・掲載費用は無料です。
- ・会報誌掲載号を30部送付いたしますのでお役立てください。
- ・掲載希望の会員企業様は、事務局 佐野までお知らせください。

会報誌1号～20号で掲載した会員企業の皆様です。

東北エリア会員

会津太陽光発電
(有)鈴木工建
東北エネルギー(株)
ミナト電気(株)
(株)光システム
(株)パートナーズ

九州エリア会員

原建設建材(株)
(株)盛和
ジャパンシナジーシステム(株)
(株)太陽ホーム
(株)大海技研

中国・四国エリア会員

日本住宅サービス(株)
(株)エコロステーション
(株)エコラボ
未来環境エネルギー計画(株)

中部エリア会員

(株)平安コーポレーション
G&Eかんぱにい
(株)エネシス静岡
(株)MGプラン
重機商工(株)
(株)キタイ電気
松下電建(株)

近畿・北陸エリア会員

(有)ブウバアー商会
エコ健システム(株)
(株)トランスオーシャンプランニング
(株)テルッソ
相和電気興業(株)
(株)スマイルあわじ
(株)ヤマダエナジー
(株)ヨネカワ

関東エリア会員

(有)アミカブルサービス
(株)ソーラーエコ
(株)恒電社
(株)J.Cプランニング
(株)ジャスパー
(株)ビル技研
(株)K I K
アソシエイトエナジー(株)
(株)白崎コーポレーション
タキマテック(株)
(株)イーステージ
(株)RE-INNOVATIONS
千葉エコ・エネルギー(株)
(株)横浜環境デザイン

(一社)日本PVプランナー協会 講師派遣実績

2013年8月より、当協会の理念にかなう自治体や業界団体からの要望に応え、講師派遣を行っております。

宮城県 脱炭素経営セミナー第2弾(オンデマンド開催)に講師派遣しました

派遣日 2020年12月4日、7日
派遣先 宮城県 脱炭素経営セミナー第2弾(オンデマンド開催)
派遣内容 「太陽光発電の未来を描く」講演
派遣講師 「太陽光発電の未来を描く」澤井仁 エリアマネージャー(東北エリア/株)パートナーズ) / 佐々木俊輔 地区リーダー(東北エリア/ミナト電気株)

環境省・松山市主催：脱炭素経営・再エネ導入セミナー&相談会に講師派遣しました

派遣日 2020年2月4日
派遣先 環境省・松山市『脱炭素経営・再エネ導入セミナー&相談会』
派遣内容 相談会におけるミニセミナーと自家消費シミュレーション相談
派遣講師 森上理事・吉村理事・事務局1名

環境省・三重県主催：脱炭素経営・再エネ導入セミナー&相談会に講師派遣しました

派遣日 2019年12月11日
派遣先 環境省・三重県『脱炭素経営・再エネ導入セミナー&相談会』
派遣内容 相談会におけるミニセミナーと自家消費シミュレーション相談
派遣講師 森上理事・竹内名誉顧問・事務局2名

福岡県主催のセミナーへ講師を派遣しました

派遣日 2018年2月22日
派遣先 福岡県・九州経済産業局・九州経済調査協会・九州環境エネルギー産業推進機構
派遣内容 平成29年度福岡県太陽光発電地域サポート体制構築事業「太陽光発電導入円滑・適正化講習会」講演
派遣講師
①「太陽光発電所の運用段階でよく見るトラブル事例」
秋永浩治 協会員(関東エリア/株)エナジービジョン)
②「太陽光発電システム～現場から未来へ～設計・施工・O&M」
高根沢 喜美一 協会員(関東エリア/株)アルシス)

新潟県太陽光発電導入促進協議会のセミナーへ講師を派遣しました

派遣日 2017年9月24日
派遣先 新潟県太陽光発電導入促進協議会
(会場 新潟テルサ 2階特別会議室/新潟市)
派遣内容 「太陽光発電セミナー」1部午前：2部午後 講師
派遣講師 石丸貴樹 理事

あきた太陽光・小型風力発電協会の講演会へ講師を派遣しました

派遣日 2017年2月6日
派遣先 一般社団法人あきた太陽光・小型風力発電協会 講演会
(会場 アキタパークホテル/秋田市)
派遣内容 「太陽光発電システムに潜む長期安定運用の課題とその対策」
派遣講師 太和田善久 監事

新潟県太陽光発電導入促進協議会の講演会へ講師を派遣しました

派遣日 2016年6月13日
派遣先 新潟県太陽光発電導入促進協議会 「平成28年度講演会」
(会場 ANA クラウンプラザホテル新潟/新潟市)
派遣内容 「太陽光発電の現状 最新情報と、これからの動向について」
派遣講師 小瀧真人 理事

東海農政局・三重県共済のセミナーへ講師を派遣しました

派遣日 2016年6月3日
派遣先 東海農政局・三重県
「農山漁村における再生可能エネルギー発電等の導入促進に関するセミナー」
(会場 三重県伊勢庁舎)
派遣内容 『農業と共存した太陽光発電の取組(農地の有効活用を目的とした)』
派遣講師 竹内政隆 名誉顧問

岩手県主催の研修会へ講師を派遣しました

派遣日 2015年2月10日
派遣先 岩手県 「太陽光発電設備施工等事業者研修会」
(会場 岩手県盛岡市立緑が丘地区活動センター)
派遣内容 『蓄電池併用型太陽光発電の概要と施工事例』
派遣講師 菊地 潤 エリアマネージャー(東北エリア)

秋田県温暖化対策課主催のセミナーへ講師を派遣しました

派遣日 2013年8月30日
派遣先 秋田県生活環境部温暖化対策課
「施工技術者向け 住宅用太陽光発電セミナー」(会場 秋田県庁)
派遣内容 『積雪地域における施工のあり方と最近多発するトラブルについて』
派遣講師 菊地 潤 エリアマネージャー(東北エリア)

2020年2月20日、21日 東北電子専門学校『太陽光発電施工実習授業』の講師に協会員様をご紹介し実施いたしました

授業日 2020年2月20日、21日
紹介先 東北電子専門学校 電気工事科
紹介内容 太陽光発電施工実習授業
紹介講師 ミナト電気(株)様、(株)パートナーズ様(ともに協会員)